

Title	巻頭の辞
Author(s)	松野, 明久
Citation	国際公共政策研究. 2019, 24(1)
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/73297">https://hdl.handle.net/11094/73297</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 巻頭の辞

床谷文雄先生のご退職を記念し、また国際公共政策研究科関係者より先生の長年の貢献やご指導に対する心からの感謝と惜別の思いを込めて、ここに『国際公共政策研究』第24巻第1号を床谷文雄教授退職記念論文集とすることになりました。床谷先生はOSIPP創立時からの教員として25年間、OSIPPでの研究・教育に尽力されました。

床谷先生は1977年3月に大阪大学法学部を卒業され、1982年3月に大阪大学大学院法学研究科博士課程を単位取得満期退学後、同年4月に神戸女学院大学文学部助手に採用されました。その後、1983年4月に同専任講師に、1986年4月に同助教授に昇任されました。そして1988年4月に大阪大学教養部助教授に採用され、1994年4月に法学部助教授を経て、同年6月にOSIPP助教授になられ、1998年7月に教授に昇任されました。OSIPP創設メンバーのおひとりであります。この間、1993年5月から1994年3月まで文部省在外研究員として、また1994年4月から1995年1月までフンボルト財団フェローとして、ドイツのフライブルク大学外国私法・国際私法研究所に研究滞在されました。また、2007年4月から2009年3月までOSIPP研究科長を務められ、2007年10月の大阪外国語大学との統合、2008年4月の法学部国際公共政策学科のスタートという一大事業を、陣頭指揮をとって乗り切られました。そして2019年3月をもって退職されました。2019年6月21日に開催されたOSIPP25周年を祝う会では、「OSIPP25周年を振り返り」と題してOSIPP25年史を語る役をお引き受けいただきました。

研究については、民法の家族法を専門とされ、主にドイツ法との比較において、親子法（養子縁組・人工生殖・親権・氏）、夫婦別氏制、相続契約、高齢者介護・成年後見、家族間契約法を研究してこられました。非常に生産的な研究者であられ、編著書は13冊、論文は60編を超え、その他の著作も含めれば、その業績は200編を超えます。この分野の編著書としては、5版を数える有斐閣アルマシリーズの教科書『民法7親族・相続』（第5版、2017年）のほか、3版を重ねた『プリメール民法5 家族法』（法律文化社、3版2014年）、『新プリメール民法5 家族法』（2018年）、『親権法の比較研究』（日本評論社、2014年）、『現代相続法』（有斐閣、2010年）、『遺言自由の原則と遺言の解釈』（商事法務、2008年）などがあります。

ドイツでの研究滞在のご経験からドイツの法学界との交流にも務められ、英語による論文・学会発表のほか、ドイツ語による論文・学会発表もあります。ドイツを始め、オランダ、韓国、中国、南アフリカでの会議に足を運ばれ、家族法分野で国際的な交流を進められました。また、フランス語に翻訳された論文も一本あり、欧州に広く知己を得ておられたことが推察されます。

床谷先生は学会の発展、法行政の推進、後進の育成にも大いに尽力されました。学会関係では比較法学会理事、比較家族史学会理事、日本家族（社会と法）学会理事（2014～2016年は理事長）、国際家族法学会理事、日本成年後見法学会理事、ジェンダー法学会監事を務められました。行政関係では、大阪家庭裁判所家事調停委員、大阪家庭裁判所参与員、法務省法制審議会臨時委員（戸籍法部会・特別養子制度部会）、厚生労働省委員（児童虐待対応における司法関与及び特別養子縁組制度の利用促進の在り方に関する検討会）などに就任されました。また、床谷先生の研究室は多くの女性研究者を輩

出した研究室です。先生の国際的視野をもつ民法研究が若い学生、とくに女性を民法研究に誘ったのだと思います。

学内では人権や男女共同参画分野で多くの仕事をなされました。それは床谷先生に対する信用がいかに厚かったかを物語るもので、膨大な知識、深い見識、国際的な視野、そしてわかりやすい解説があいまって、皆が先生の意見に耳を傾けたのだと思います。家族のあり方やそのとらえ方が多様化し、日本が超高齢化社会となっていく中で、床谷先生のご研究はこれまで以上に必要とされることでしょう。これからも国際公共政策研究科の行く末を見守りつつ、後進の指導にご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年 9月

大阪大学国際公共政策学会長  
松野 明久